



ふきのとう

～上川医療センターより季節ごとの情報を伝えします～

2
月号
2026
No.7



○ 2種類の検査について

検査科では大きく2つに分けられた検査を行っています。

- (1) 体から採取した検体（血液、尿、便など）を調べる「**検体検査**」
- (2) 体の機能を調べる「**生理検査**」

臨床検査は、血液や尿の成分の異常、心臓の動きや状態など、問診・触診などの診察だけではわからない身体のサインを検査して、それら検査結果は病気の診断、治療、予防、早期発見の重要な情報として利用されます。

(1) 当院で行っている「**検体検査**」

○生化学検査

肝機能、腎機能、脂質、糖などを調べます。



○一般検査

尿や便を調べます。



○血液検査

貧血や体内の炎症の有無、血球の種類などを調べます。



尿の検査は、尿試験紙を尿に浸して検査します。細菌の有無や細胞成分を顕微鏡で観察することもありますが、10～20ccあれば足りますので、尿カップの一番下の線（25と書かれた線）より少なくとも大丈夫です。

これらの検査結果を至急で知りたい場合は、検査の内容によりますが、採血をしてから30分～1時間ほどで報告できます。

当院で検査できない項目（例：甲状腺や肝炎、病理組織検査、細菌培養など）は、検査センターに外部委託しているので、報告まで日数がかかります。



～臨床検査科のご紹介～

診察のとき、健診のときに採血や尿等の検査、心電図検査などを受けられたことはありますか？？今回は、それら検査を行っている臨床検査科のご紹介をいたします。

(2) 当院で行っている「**生理検査**」

○心電図

不整脈、狭心症、心筋梗塞など、心臓の様子を調べます。5分ほどでおわります。



腹部は上着をまくつて電極（吸盤）をつけていますので、上半身裸になる必要はありません。



両手、両足首に電極（クリップ）をつけてますので、ストッキングは短いものをおすすめします。

ワンピース、つなぎは控え、上下に分かれた服装でご来院ください。

○聴力検査

耳にヘッドホンをあて、どの程度小さな音が聞こえるかを調べます。



○眼底検査

瞳孔の奥にある眼底をカメラで撮影し、網膜、血管、視神経などを調べます。撮影時は少しうるさいですが、痛みはありません。5分ほどでおわります。



○呼吸機能検査

肺の大きさや気管支の異常などを調べる検査です。空気がもれないように鼻をクリップでつまみ、マウスピース（直径2cmくらいの筒）をくわえて、息を吸ったり吐いたりします。5～10分ほどでおわります。